

(様式2(1))

目標達成計画

事業所名 グループホーム うみのほし魚崎

作成日: 平成 23年 4 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	7	権利擁護について実質的な制度活用への支援はまだ無い。職員への研修情報の提供はあるが、制度の周知にはいたっていない。	職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持っている。職員は制度を理解して該当者の相談にのれている。	半期に1度は勉強会をしたり、研修会に参加するなどして、制度について考える取り組みを行なう。	12ヶ月
2	17	年2回消防署の指導の下避難訓練を行なっている。利用者も、消火器やホースで散水する訓練にも参加する等地域との協力体制は取れているが、事業所の避難訓練に地域の参加はない。	年2回の消防署指導の訓練は欠かす事無く継続している。事業所の訓練に地域の方が参加して下さるように成っている。	年2回行なっている事業所の避難訓練時に地域の方の参加者を募る。	6ヶ月
3	18	法人内で接遇の研修を実施し、職員に言葉遣いや態度の大切さを伝えている。一方的な介護にならない様その人らしさへの配慮を重視しているが、管理者は職員への徹底が不十分であると認識している。	一人ひとりに合った、その人らしさを重視している。利用者にはもちろん、職員同士においても言葉遣いや羞恥心、プライドへの配慮を徹底している。	毎月の職員会議にて、一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねていないか？皆で注意、確認を行なっていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。